

第 53 回墨東五区サッカー選手権大会要項 エキシビション

1. 主 催
足立区サッカー協会・墨田区サッカー協会・江戸川区サッカー連盟・江東区サッカー連盟・葛飾区サッカー協会
2. 主 管
一般財団法人葛飾区サッカー協会
3. 後 援
足立区・墨田区・江戸川区・江東区・葛飾区・一般社団法人葛飾区スポーツ協会・葛飾区教育委員会
公益財団法人東京都サッカー協会
4. 日 程
2025 年 11 月 2 日・9 日・16 日・23 日（各日曜日）※雨天決行 予備日：11 月 30 日（日）
5. 会 場
東新小岩運動場
水元スポーツセンター公園
葛飾にいじゅくみらい公園
6. 種 別
(1) 中学の部
(2) 少女の部
(3) 女子の部
(4) 女子シニアの部
(5) 壮年の部（O-40、O-50、O-60）
7. 大会形式
各カテゴリーの大会要項補足に記載
8. 競技規則
（公財）日本サッカー協会「サッカー競技規則 2024/25」に準じる。
9. メンバー表
(1) メンバー表記載選手数は 20 名以内とする。また、試合毎に出場選手の変更は可能とする。
(2) メンバー表記載役員人数は 5 名以内とする。また、試合毎に記載役員の変更は可能とする。
(3) メンバー表には、出場選手の登録番号と背番号の両方を記載するものとする。
10. 審判
(1) 各区帯同の 2025 年度（公財）日本サッカー協会有資格者とする。
(2) 中学の部は主審 1、副審 2、第 4 審判 1 の 4 人制とする。
(3) 他のカテゴリーは、主審 1、副審 2 の 3 人制とし、第 4 審判は各運営本部が代行する。
11. 順位決定
リーグの勝敗は勝ち点制とする。勝「3」、引分「1」、負「0」とする。また、勝点同数の場合、得失点差、総得点、直接対戦の勝の順で決定する。それでも決着しない場合、コイントス、じゃんけんで決定する。同順位とする。
12. 表 彰
(1) 中学の部、少女の部は賞状とメダルとする。
(2) 女子の部、女子シニアの部、壮年の部は賞状のみとする。
(3) 表彰式は各カテゴリーの最終試合後に行う。（1 位、2 位、3 位チームは最低 1 名の参加とする。）
13. 懲罰
反則による退場者及び累積警告 2 回以上の者は、最低次の試合出場は認めない。尚、その後の処置については規律委員会で決定する。
14. 選手登録
(1) 毎試合毎メンバー表記載選手人数は 20 名以内とする。試合毎の出場選手の変更は可能とする。
(2) 毎試合メンバー表記載役員は 3 名以内とする。試合毎の記載役員の変更は可能とする。
(3) 提出するメンバー表には出場選手の登録番号と背番号の両方を記載するものとする。
15. 中止試合
どちらかのチームの帰責による試合中止は、帰責チームの 0-3 不戦敗とする。
16. 参加費
種目ごとに 5,000 円とし、申込確認後に合計金額の振り込み請求額を主催区より発行します。請求書記載の振込先へ期日までに振込してください。

17. 申込方法

各区主催課を経由し下記の期日までに申し込むこと。また、大会主催区の運営窓口にも提出すること。

同時に事前選手登録（指定書式）を提出する。（プログラムに掲載）

登録選手数は上限 40 名とする。提出後の変更は別途規定する。

「葛飾区教育委員会事務局生涯スポーツ課事業係」担当：金子宛

E-mail：301600@city.katsushika.lg.jp

〒124-0022 東京都葛飾区奥戸 7-17-1 葛飾区奥戸総合スポーツセンター体育館内

TEL 03(3691)7111 FAX 03(5698)1752

18. 申込期限

令和 7 年 9 月 26 日（金）まで

19. 登録選手の変更

(1) 中学の部

① 登録選手の変更は、下記日時までに大会本部に 1 部提出すること。また、それ以降の選手登録の変更は認めない。

② 提出期限は、11 月 8 日 20 時までにメールで提出すること。また、試合当日の MC ミーティングのときに、変更したチーム登録票 1 部およびメンバー表を 4 部提出すること。

(2) 少女の部

① 登録選手の変更は、下記日時までに大会本部に 1 部提出すること。また、それ以降の選手登録の変更は認めない。

② 提出期限は、11 月 1 日 20 時までにメールで提出すること。また、試合当日の MC ミーティングのときに、変更したチーム登録票 1 部およびメンバー表を 4 部提出すること。

(3) 女子の部

① 登録選手の変更は、下記日時までに大会本部に 1 部提出すること。また、それ以降の選手登録の変更は認めない。

② 提出期限は、11 月 8 日 20 時までにメールで提出すること。また、試合当日の MC ミーティングのときに、変更したチーム登録票 1 部およびメンバー表を 4 部提出すること。

(4) 女子シニアの部

① 登録選手の変更は、下記日時までに大会本部に 1 部提出すること。また、それ以降の選手登録の変更は認めない。

② 提出期限は、11 月 1 日 20 時までにメールで提出すること。また、試合当日の MC ミーティングのときに、変更したチーム登録票 1 部およびメンバー表を 4 部提出すること。

(5) 壮年の部（O-40、O-50）

① 登録選手の変更は、下記日時までに大会本部に 1 部提出すること。また、それ以降の選手登録の変更は認めない。

② 提出期限は、11 月 1 日 20 時までにメールで提出すること。また、試合当日の MC ミーティングのときに、変更したチーム登録票 1 部およびメンバー表を 4 部提出すること。

(6) 壮年の部（O-50）

① 登録選手の変更は、下記日時までに大会本部に 1 部提出すること。また、それ以降の選手登録の変更は認めない。

② 提出期限は、11 月 15 日 20 時までにメールで提出すること。また、試合当日の MC ミーティングのときに、変更したチーム登録票 1 部およびメンバー表を 4 部提出すること。

(7) 壮年の部（O-60）

① 登録選手の変更は、下記日時までに大会本部に 1 部提出すること。また、それ以降の選手登録の変更は認めない。

② 提出期限は、11 月 15 日 20 時までにメールで提出すること。また、試合当日の MC ミーティングのときに、変更したチーム登録票 1 部およびメンバー表を 4 部提出すること。

20. その他

(1) 大会中のけが等については、応急処置は致しますが、その後の責任は負いかねますので、チームごとに保険に加入し、対応してください。なお、怪我した場合の通院を考えて参加者は必ず健康保険証を持参するようにしてください。

(2) 参加者は予め保険に加入すること。

(3) 貴重品などは各自の責任で管理すること。

(4) 写真撮影・ビデオ撮影は、観客席以外とベンチ以外では禁止とする。また、少女の部、女子の部及び女子シニアの部の試合の写真撮影・ビデオ撮影に関しては、大会本部の許可を得ること。

- (5) 本大会期間中に、この要綱にない問題が発生した場合には、各区理事長相互の競技により決定する。
- (6) プレイ中に頭を打った場合の対処
主審は当該選手の状態確認をして、移動可能な場合はフィールド外(ベンチ含む)に下げさせる。
- (7) 各チームには、フィールド上に（キャプテンとして）識別できるアームバンドを着用したキャプテンがいなければならない。

中学の部大会要項（補足）

1. 参加資格
各協会・連盟に登録の中学生であること。
2. 大会形式
各区代表 1 チームによる最大 5 チームの 11 人制総当たりのリーグ戦とする。
3. 試合球
(公財) 日本サッカー協会認定 5 号球を使用する。
4. 競技規則
 - (1) 試合時間は 60 分（インターバル 5 分）とし、勝敗が決しない場合は引き分けとする。
 - (2) ベンチに入れる者は、試合ごとにメンバー表に記載された役員 3 名と（事前に選手登録されている）交代選手 9 名を含め上限 14 名以内とする。
 - (3) 所定のメンバー用紙 2 部を試合開始時間 20 分前までに会場運営本部に提出し、10 分前にメンバーチェック、用具チェックを実施する。
 - (4) 選手交代は、後半の交代回数を 3 回までとする。（1 回に複数人交代可能）
 - (5) 監督会議は試合開始の 30 分前に会場運営本部にて実施する。
監督会議参加者は、運営本部・対戦チーム監督と他 1 名まで・審判員 4 名とし、終了時に説明理解および確認のために確認シートに全員実筆署名し記録する。また、ユニフォーム確認は FP・GK のユニフォームを持参すること。
 - (6) 主審・副審 2 名・第 4 審判の 4 名は、試合開始 40 分前までに会場運営本部に審判証を提示し、審判確認事項に従い、事前打ち合わせを実施してください。
 - (7) フィールド上に用意されたベンチには、メンバー用紙に記載された者だけが着席できる。
 - (8) 交代要員は、試合進行に影響を及ぼさないように、シャツの上から FP と異なるビブス等を着用しなければならない。
 - (9) ベンチ入りしたチーム役員は、FP と異なる色のウェアを着用しなければならない。
5. ユニフォーム規程
ユニフォームの規定の一部に緩和措置を適用する。
 - (1) 本競技会に登録した正・副 2 組のユニフォーム（シャツ、ショーツ及びソックス）を試合会場に持参し、いずれかを着用しなければならない。
 - (2) 正・副の 2 色については明確に異なる色とする。
 - (3) 主審は、対戦するチームのユニフォームの色彩が類似しており、判別しがたいと判断したときは、両チーム立会いのもとに、その試合において着用するユニフォームを決定する。
 - (4) 前項の場合、主審は両チームの各 2 組のユニフォームのうちから、シャツ、ショーツ及びソックスのそれぞれについて、判別しやすい組合せを決定することができる。
 - (5) ソックスにテープまたはその他の材質のものを貼り付ける、または外部に着用する場合、ソックスと同色でなくても良い。
 - (6) アンダーシャツ、アンダーショーツ、アンダータイツの色は問わない。ただし、原則としてチーム内で同色のものを着用とする。また、カーフストッキング使用の場合は、同色のもののみ可とする。また、ソックスにテープまたはその他の材質のものを貼り付け、外部に着用する場合、ソックスと同色でなくても良い。
6. その他
 - (1) ハーフタイムのフィールド使用は当該チームのみとし、次試合以降のチームは使用できない。
 - (2) 脳震盪が疑われる場合の選手交代について（競技規則に準じる）

「脳震盪による交代（再出場なし）」の追加は、実際に脳震盪を起こした、またはその疑いがある競技者が交代し、その試合の残り時間に参加しない場合に生じる。この交代は「通常」認められた交代（または該当する場合は交代の回数）の 1 人（1 回）として数えない。

1 試合において、各チームは最大 1 人の「脳震盪による交代」を使うことができる。

「脳震盪による交代」は、その前に何人の交代要員が使われていたにかかわらず、行うことができる。

氏名が届けられた交代要員の数が「通常の交代」の最大数と同じである競技会においては、「脳震盪による交代で入る交代要員」は、交代で退いた競技者であっても交代で競技者になることができ、その前に何人の交代が行われているにかかわらず、いつでも交代して出場することができる。

「脳震盪による交代で入る交代要員」が使われたならば、相手チームは（脳震盪に限らず）いか

なる理由であっても「追加の交代要員」を使うことができ、「通常の交代要員」には使用することはできない。

チームが「脳震盪による交代」を行おうとした場合、交代カードに「脳震盪」と記載して、大会本部に提出し、大会本部は交代の際に主審・第4審判にその旨を通知する。

脳震盪と疑われた選手は、医療施設に受診し、後日、診断書を大会事務局に提出をする。

少女の部大会要項（補足）

1. 参加資格
各連盟・協会に登録している小学生女子であること。少年の部との重複は不可。
2. 大会形式
各区代表 1 チームによる 最大 5 チームの 8 人制 総当たりのリーグ戦とする。
3. 試合球
（公財）日本サッカー協会認定 4 号球を使用する。
4. 競技規則
 - (1) 試合時間は 40 分（インターバル 5 分）とし、勝敗が決しない場合は引き分けとする。
 - (2) ベンチに入れる者は、試合ごとにメンバー表に記載された役員 5 名と（事前に選手登録されている）交代選手 12 名を含め上限 17 名以内とする。
 - (3) メンバー表は試合開始時間 15 分前までに会場運営本部に 2 部提出し、10 分前までにメンバーチェック・用具チェックを実施する。
 - (4) 選手交代は、自由交代とする。交代時は「交代ゾーン」で交代を行う。
 - (5) 監督会議は試合開始の 20 分前に会場運営本部にて実施する。
監督会議参加者は、運営本部・対戦チーム監督と他 1 名まで・審判員 3 名として、終了時に説明理解および確認のために確認シートに全員実筆署名し記録する。
 - (6) 主審・副審 2 名の 3 人制で行う。第 4 審判は運営本部が代行する。審判員は試合開始 30 分前までに会場運営本部に審判証を提示し、審判確認事項に従い、事前打ち合わせを実施してください。
 - (7) フィールド上に用意されたベンチには、メンバー用紙に記載された者だけが着席できる。
 - (8) 交代要員は、試合進行に影響を及ぼさないように、シャツの上から FP と異なるビブス等を着用しなければならない。
 - (9) ベンチ入りしたチーム役員は、FP と異なる色のウェアを着用しなければならない。
5. ユニフォーム規程
ユニフォームの規定の一部に緩和措置を適用する。
 - (1) 本競技会に登録した正・副 1 着以上のユニフォーム（シャツ、ショーツ及びソックス）を試合会場に持参し、着用しなければならない。（2 着以上の持参が望ましい）
 - (2) ユニフォームのデザイン、ロゴ等が異なっても、本競技主催者が認める場合、主たる色が同系色であれば、着用することができる（ビブス等も可）。
 - (3) ゴールキーパーのユニフォームについて、ショーツ、ソックスはフィールドプレイヤーと同系色でも良いものとする。
 - (4) 主審は、対戦するチームのユニフォームの色彩が類似しており、判別しがたいと判断したときは、両チーム立会いのもとに、いずれのチームがビブス等を着用することを決定する。
 - (5) ソックスにテープまたはその他の材質のものを貼り付ける、または外部に着用する場合、ソックスと同色でなくても良い。
 - (6) アンダーシャツの色は問わない。ただし、原則としてチーム内で同色のものを着用する。
 - (7) アンダーショーツ、アンダータイツの色は問わない。ただし、原則としてチーム内で同色のものを着用とする。カーフストッキング使用の場合は、同色のもののみ可とする。また、ソックスにテープまたはその他の材質のものを貼り付け、外部に着用する場合、ソックスと同色でなくとも良い。
6. その他
 - (1) ハーフタイムのフィールド使用は当該チームのみとし、次試合以降のチームは使用できない。

女子の部大会要項（補足）

1. 参加資格
各連盟・協会に登録している女子中学生以上であること。女子シニアの部との重複は可とする。
2. 大会形式
各区代表 1 チームによる 最大 5 チームの 11 人制 総当たりのリーグ戦とする。
3. 試合球
(公財) 日本サッカー協会認定 5 号球を使用する。
4. 競技規則
 - (1) 試合時間は 40 分（インターバル 5 分）とし、勝敗が決しない場合は引き分けとする。
 - (2) ベンチに入れる者は、試合ごとにメンバー表に記載された役員 3 名と（事前に選手登録されている）交代選手 9 名を含め上限 12 名以内とする。
 - (3) メンバー表は試合開始時間 15 分前までに会場運営本部に 2 部提出し、10 分前までにメンバーチェック・用具チェックを実施する。
 - (4) 選手交代は、自由交代制とする。（回数制限なし）
 - (5) 監督会議は試合開始の 20 分前に会場運営本部にて実施する。
監督会議参加者は、運営本部・対戦チーム監督と他 1 名まで・審判員 3 名として、終了時に説明理解および確認のために確認シートに全員実筆署名し記録する。
 - (6) 主審・副審 2 名の 3 人制で行う。第 4 審判は運営本部が代行する。審判員は試合開始 30 分前までに会場運営本部に審判証を提示し、審判確認事項に従い、事前打ち合わせを実施してください。
 - (7) フィールド上に用意されたベンチには、メンバー用紙に記載された者だけが着席できる。
 - (8) 交代要員は、試合進行に影響を及ぼさないように、シャツの上から FP と異なるビブス等を着用しなければならない。
 - (9) ベンチ入りしたチーム役員は、FP と異なる色のウェアを着用しなければならない。
5. ユニフォーム規程
ユニフォームの規定の一部に緩和措置を適用する。
 - (1) 本競技会に登録した正・副 2 組のユニフォーム（シャツ、ショーツ及びソックス）を試合会場に持参し、いずれかを着用しなければならない。
 - (2) 正・副の 2 色については明確に異なる色とする。
 - (3) 主審は、対戦するチームのユニフォームの色彩が類似しており、判別しがたいと判断したときは、両チーム立会いのもとに、その試合において着用するユニフォームを決定する。
 - (4) 前項の場合、主審は両チームの各 2 組のユニフォームのうちから、シャツ、ショーツ及びソックスのそれぞれについて、判別しやすい組合せを決定することができる。
 - (5) ソックスにテープまたはその他の材質のものを貼り付ける、または外部に着用する場合、ソックスと同色でなくても良い。
 - (6) アンダーシャツの色は問わない。ただし、原則としてチーム内で同色のものを着用とする。
 - (7) アンダーショーツ、アンダータイツの色は問わない。ただし、原則としてチーム内で同色のものを着用とする。カーフストッキング使用の場合は、同色のもののみ可とする。また、ソックスにテープまたはその他の材質のものを貼り付け、外部に着用する場合、ソックスと同色でなくとも良い。
6. その他
ハーフタイムのフィールド使用は当該チームのみとし、次試合以降のチームは使用できない。

女子シニアの部大会要項（補足）

1. 参加資格
各連盟・協会に登録している30歳（2025年11月1日現在）以上の女子であること。女子の部との重複は可とする。
2. 大会形式
各区代表1チームによる最大5チームの8人制総当たりのリーグ戦とする。
3. 試合球
（公財）日本サッカー協会認定4号球を使用する。また、試合球は大会本部で用意する。
4. 競技規則
 - (1) 試合時間は40分（インターバル5分）とし、勝敗が決しない場合は引き分けとする。
 - (2) ベンチに入れる者は、試合ごとにメンバー表に記載された役員5名と（事前に選手登録されている）交代選手12名を含め上限17名以内とする。
 - (3) スライディングタックルは禁止とし、反則した場合は直接FKで試合を再開する。また、PA内の場合、PKとする。ただし、ボールへのスライディングするプレイは認め、相手選手へのスライディングは認めない。
 - (4) メンバー表は試合開始時間15分前までに会場運営本部に2部提出し、10分前までにメンバーチェック・用具チェックを実施する。
 - (5) 選手交代は、自由交代制とする。（回数制限なし）交代時は「交代ゾーン」で交代すること。
 - (6) 監督会議は試合開始の20分前に会場運営本部にて実施する。
監督会議参加者は、運営本部・対戦チーム監督と他1名まで・審判員3名として、終了時に説明理解および確認のために確認シートに全員実筆署名し記録する。
 - (7) 主審・副審2名の3人制で行う。第4審判は運営本部が代行する。審判員は試合開始30分前までに会場運営本部に審判証を提示し、審判確認事項に従い、事前打ち合わせを実施してください。
 - (8) フィールド上に用意されたベンチには、メンバー用紙に記載された者だけが着席できる。
 - (9) 交代要員は、試合進行に影響を及ぼさないように、シャツの上からFPと異なるビブス等を着用しなければならない。
 - (10) ベンチ入りしたチーム役員は、FPと異なる色のウェアを着用しなければならない。
5. ユニフォーム規程
ユニフォームの規定の一部に緩和措置を適用する。
 - (1) 本競技会に登録した正・副1着以上のユニフォーム（シャツ、ショーツ及びソックス）を試合会場に持参し、着用しなければならない。（2着以上の持参が望ましい）
 - (2) ユニフォームのデザイン、ロゴ等が異なっても、本競技主催者が認める場合、主たる色が同系色であれば、着用することができる（ビブス等も可）。
 - (3) ゴールキーパーのユニフォームについて、ショーツ、ソックスはフィールドプレイヤーと同系色でも良いものとする。
 - (4) 主審は、対戦するチームのユニフォームの色彩が類似しており、判別しがたいと判断したときは、両チーム立会いのもとに、いずれのチームがビブス等を着用することを決定する。
 - (5) ソックスにテープまたはその他の材質のものを貼り付ける、または外部に着用する場合、ソックスと同色でなくても良い。
 - (6) アンダーシャツの色は問わない。ただし、原則としてチーム内で同色のものを着用する。
 - (7) アンダーショーツ、アンダータイツの色は問わない。ただし、原則としてチーム内で同色のものを着用とする。カーフストッキング使用の場合は、同色のもののみ可とする。また、ソックスにテープまたはその他の材質のものを貼り付け、外部に着用する場合、ソックスと同色でなくても良い。
6. その他
ハーフタイムのフィールド使用は当該チームのみとし、次試合以降のチームは使用できない。

壮年の部大会要項（補足）

1. 参加資格

各連盟・協会に登録している 2025 年 11 月 1 日現在で以下の年齢条件以上であること。各カテゴリーの年齢条件を満たしている場合に限り重複登録を認める。

- ① O-40 40 歳以上
- ② O-50 50 歳以上
- ③ O-60 60 歳以上

2. 大会形式

- ① O-40 は主催区が 2 チーム及び各区代表 1 チームによる最大 6 チームの 11 人制とし、予選リーグおよび決勝トーナメント戦とする。
- ② O-50 は各区代表 1 チームによる最大 5 チームの 11 人制の総当たりのリーグ戦とする。
- ③ O-60 は各区代表 1 チームによる最大 5 チームの 11 人制の総当たりのリーグ戦とする。

3. 試合球

（公財）日本サッカー協会認定 5 号球を使用する。

4. 競技規則

- (1) O-40 の試合時間は 40 分（インターバル 5 分）とし、予選リーグで勝敗が決しない場合は引き分けとし、決勝トーナメントで引き分けの場合、PK 戦とする。また、O-50 及び O-60 の試合時間は 40 分（インターバル 5 分）とし、勝敗が決しない場合は引き分けとする。
- (2) ベンチに入れる者は、試合ごとにメンバー表に記載された役員 3 名と（事前に選手登録されている）交代選手 9 名を含め上限 12 名以内とする。
- (3) メンバー表は試合開始時間 15 分前までに会場運営本部に 2 部提出し、5 分前までにメンバーチェック・用具チェックを実施する。
- (4) 選手交代は、O-40 及び O-50 は再交代制とする。（回数制限なし）
O-60 のみ自由交代制とする。（回数制限なし）交代時は「交代ゾーン」で交代を行う。
- (5) 監督会議は試合開始の 20 分前に会場運営本部にて実施する。
監督会議参加者は、運営本部・対戦チーム監督と他 1 名まで・審判員 3 名として、終了時に説明理解および確認のために確認シートに全員実筆署名し記録する。
- (6) 主審・副審 2 名の 3 人制で行う。第 4 審判は運営本部が代行する。審判員は試合開始 30 分前までに会場運営本部に審判証を提示し、審判確認事項に従い、事前打ち合わせを実施してください。
- (7) フィールド上に用意されたベンチには、メンバー用紙に記載された者だけが着席できる。
- (8) 交代要員は、試合進行に影響を及ぼさないように、シャツの上から FP と異なるビブス等を着用しなければならない。
- (9) ベンチ入りしたチーム役員は、FP と異なる色のウェアを着用しなければならない。

5. ユニフォーム規程

ユニフォームの規定の一部に緩和措置を適用する。

(1) O-40 及び O-50

- (i) 本競技会に登録した正・副 2 組のユニフォーム（シャツ、ショーツ及びソックス）を試合会場に持参し、いずれかを着用しなければならない。
- (ii) 正・副の 2 色については明確に異なる色とする。
- (iii) 主審は、対戦するチームのユニフォームの色彩が類似しており、判別しがたいと判断したときは、両チーム立会いのもとに、その試合において着用するユニフォームを決定する。
- (iv) 前項の場合、主審は両チームの各 2 組のユニフォームのうちから、シャツ、ショーツ及びソックスのそれぞれについて、判別しやすい組合せを決定することができる。
- (v) ソックスにテープまたはその他の材質のものを貼り付ける、または外部に着用する場合、ソックスと同色でなくても良い。
- (vi) アンダーシャツの色は問わない。ただし、原則としてチーム内で同色のものを着用とする。
- (vii) アンダーショーツ、アンダータイツの色は問わない。ただし、原則としてチーム内で同色のものを着用とする。カーフストッキング使用の場合は、同色のもののみ可とする。

(2) O-60

- (i) 本競技会に登録した正・副 1 着以上のユニフォーム（シャツ、ショーツ及びソックス）を試合会場に持参し、着用しなければならない。（2 着以上の持参が望ましい）
- (ii) ユニフォームのデザイン、ロゴ等が異なっても、本競技主催者が認める場合、主たる色が同系色であれば、着用することができる（ビブス等も可）。
- (iii) ゴールキーパーのユニフォームについて、ショーツ、ソックスはフィールドプレイヤーと同系色でも良いものとする。

- (iv)主審は、対戦するチームのユニフォームの色彩が類似しており、判別しがたいと判断したときは、両チーム立会いのもとに、いずれのチームがビブス等を着用することを決定する。
- (v)ソックスにテープまたはその他の材質のものを貼り付ける、または外部に着用する場合、ソックスと同色でなくても良い。
- (vi)アンダーシャツの色は問わない。ただし、原則としてチーム内で同色のものを着用する。
- (vii)アンダーショーツ、アンダータイツの色は問わない。ただし、原則としてチーム内で同色のものを着用とする。カーフストッキング使用の場合は、同色のもののみ可とする。また、ソックスにテープまたはその他の材質のものを貼り付け、外部に着用する場合、ソックスと同色でなくても良い。

6. その他

ハーフタイムのフィールド使用は当該チームのみとし、次試合以降のチームは使用できない。